

JPN57 香村治彦

2026.6.26(金)

横須賀市 広報よこすか 7月号

最新版 2～3 ページ目

『情熱がまちを動かす まっすぐな想いが地域の魅力に』のコーナーに掲載して頂きました。

※【広報よこすか】

は横須賀市のすべての世帯・事業所を対象に配布！

通常は町内会・自治会を通じて各家庭に届けられますが、町内会に未加入の世帯や大規模マンション等の場合は、管理組合等を経由して配布！

先日、横須賀市広報課の皆様に取材&撮影をして頂きました。本当にありがとうございました。継続は力なり！引き続き精進します。

ご協力ご支援どうぞ宜しくお願い致します。

横須賀市 HP より本日 6/26(金)公開！

※広報よこすか hp

<https://yokosuka.actibookone.com/content/detail...>

津久井浜の風を、まちの力に 海の魅力を、次の世代へ

津久井浜を拠点に活動するプロウインドサーファー、香村治彦さん。17歳でウインドサーフィンに出会い、遑磨を迎えた今も現役選手として第一線に立ち続けています。香村さんが大切にしているのは、「継続は力なり」を体現する自分の姿も含め、競技の魅力と津久井浜の価値をより多くの人に伝えること。2017年から津久井浜で開催されてきたワールドカップをきっかけに、地域との関わりも深まりました。子どもたちへの普及活動にも積極的で、近隣の小学校では“風を感じる”体験授業を実施。競技を身近に感じられる機会を増やしてきました。まちで声をかけてくれる人が増え、大会に足を運ぶ子どもたちの姿も見られるように、「本当にうれしい」と目を細めます。

「風の力だけで海を走る非日常は、何ものにも代えがたい魅力。津久井浜をウインドサーフィンの『聖地』として、もっと多くの人が集う場所にしたい」。そう語る香村さんの「好き」を続ける姿は、子どもたちの憧れとなり、まちの新たな魅力を生み出す原動力にもなっています。香村さんの挑戦は今日も津久井浜の風に乗り、横須賀の魅力を世界へ広げています。

